

丸かじり高畠！いきいき笑顔の人づくりを目指す食育 事業実施主体：高畠町(山形県)

- 高畠町は、奥羽の山並みに囲まれた肥沃な大地と四季折々の多彩で豊かな自然環境に恵まれ、歴史と伝統のある農産物と食文化が根付いており、町民が主体的に食育や地産地消に取り組んでいる。
- 町では、家庭を中心としながら、乳幼児施設や学校、関係団体、そして地域が連携した取り組みを支援・推進し、すべての町民の「食」に対する関心を高め、毎日の食卓から自然に「食」を学び身に付け「食を通じたいいきいき暮らし」を実現させるため、「第2期高畠町食育・地産地消推進計画」(令和2～6年度)を策定し、食育・地産地消に関する施策の総合的かつ計画的な推進を目指している。



【取組の内容】

高畠町食育・地産地消推進協議会の開催

- 町内有識者12名及び庁内関係各課により構成し、年3回の会議を開催した。
- 各課における取組や町内小中学校の取組み等を共有し計画の進行管理を実施した。
- 特にコロナ禍における町民の食育に関する課題や推進方法について検討し、広く町民に食育に関する啓発を図るためのリーフレットを作成した。

健全な食習慣を育むための食育講座の開催

- 「高畠町食育・地産地消実態調査(平成30年実施)」では、朝食欠食率が小学生2.9%、中学生2.8%、高校生5.7%となっており、平成25年調査時よりも悪化の傾向がみられることから、これらの世代を対象に、朝食習慣を育むための講座を実施した。
- 講座では、朝食習慣により体のリズムが整うことや、学力向上などの良い影響があるという科学的証拠など様々なメリットを示しながら朝食の大切さを伝えたほか、手軽に調理でき栄養バランスの整ったメニューを紹介し、朝食習慣の定着を促した。

【取組の成果】

食育啓発リーフレットの作成

- コロナ禍における家庭での食卓づくりを楽しむためのポイントを取りまとめた食育リーフレットを13,000部作成。全戸配布するとともに、町内の公共施設や飲食店等にも配架し町民への食育の普及・啓発に努めた。



作成した「食卓づくりのポイント15」

健全な食習慣を育むための食育講座の開催

- 計37名が参加。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、オンラインを活用することで、参加者の安心・安全を確保しながら講座を実施。高畠産の食材や食品を活用した朝食メニューを紹介し、朝食習慣の定着に併せて地元の食文化への理解も深めることができた。



食育講座の受講の様子